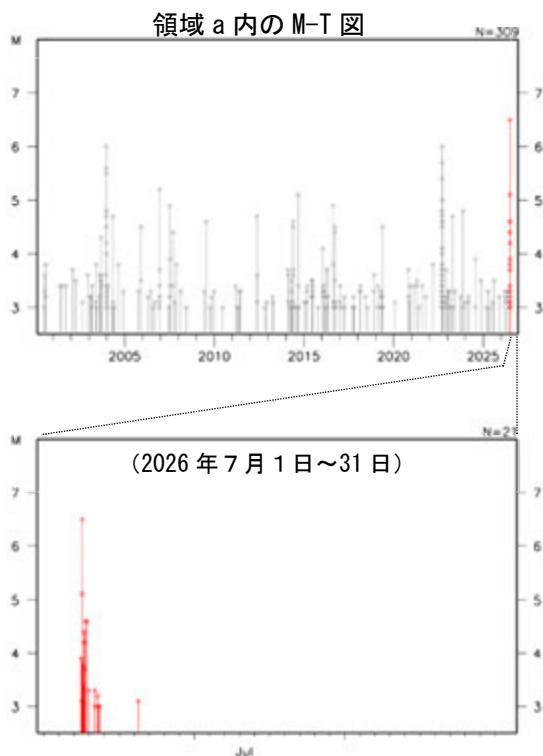
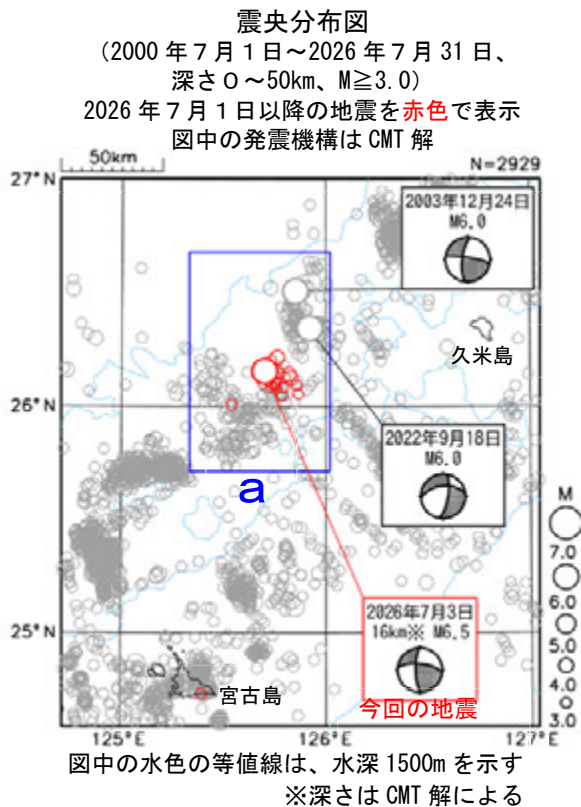


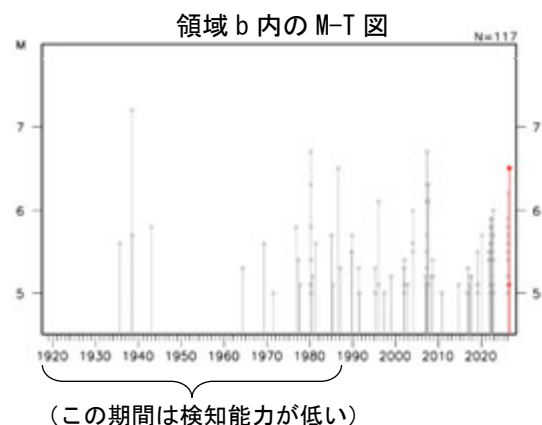
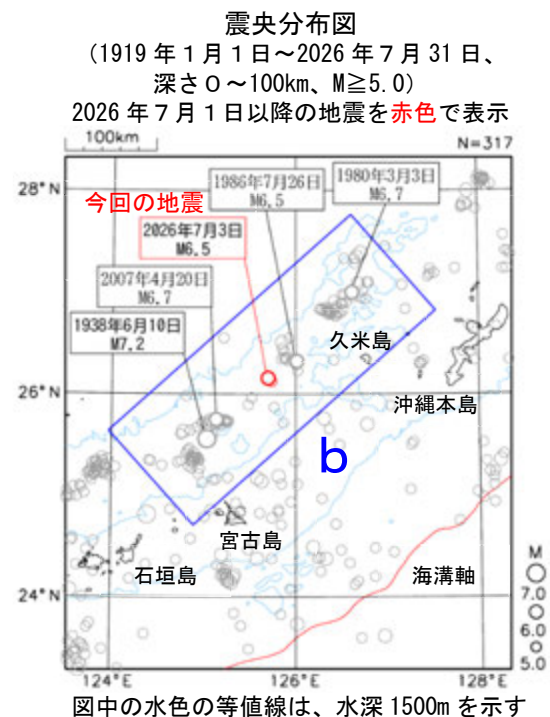
7月3日 宮古島北西沖の地震（久米島の西約100kmの地震）



2026年7月3日13時04分に宮古島北西沖の深さ16km（深さはCMT解による）でM6.5の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、沖縄トラフ沿いで発生した陸のプレート内の地震である。発震機構（CMT解）は、北西－南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

2000年7月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、2022年9月18日にM6.0の地震（最大震度2）が発生するなど、M6.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM6.0以上の地震が時々発生している。1938年6月10日に発生したM7.2の地震（最大震度4）では、地震後10分で宮古島平良港に高さ1.5m（目視による最大の高さ）の津波が襲来し、栈橋の流出などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。



気象庁作成